

東京防災プラン2021の概要

1 東京防災プラン2021について

- ◆ 地震、風水害、火山等の自然災害に対する防災対策を迅速かつ計画的に推進していくために策定する事業計画
- ◆ 東京都震災対策条例に基づく、震災対策事業計画としても位置付け
- ◆ 計画期間：2021～2023年度(令和3～5年度)

2 策定の目的

- ◆ 「自助」、「共助」の担い手である都民や地域、企業等の理解と協力、「公助」を担う都が一体となって、本プランに掲げる取組を推進することで、安全・安心な東京の実現を目指すこと。
- ◆ 防災分野におけるDXの推進や、感染症と自然災害との複合災害、近年の災害の教訓等を踏まえた新たな対策を取り入れ、地震や風水害・火山噴火等の防災対策を充実・強化していくこと。

3 プランの特徴

DXによる防災対策の推進

- ▶ 災害発生前、発災時、復旧・復興の各段階における防災対策を迅速かつ的確に進めるため、AI・デジタル技術等を活用



感染症と自然災害との複合災害への備え

- ▶ 分散避難の推進や避難所での感染防止対策など、コロナ禍における新たな取組をプランに位置付け複合災害への備えを強化



災害の教訓を踏まえた新たな対策を適切に反映

- ▶ 平成30年大阪府北部地震や令和元年東日本台風など、近年の災害からの教訓を踏まえた新たな対策を適切に反映
- ▶ 台風被害の頻発化を踏まえ、風水害への事前対策を充実



情報アクセシビリティの向上

- ▶ スマホ等から自助・共助に関する取組などについて詳細情報を確認できるよう、QRコードを活用



4 プランの構成

- ▶ 地域や災害ごとの「発災時を想定したシナリオ」と、発災時に懸念される事態に対する自助・共助・公助の「行うべき取組」をまとめた2部構成
- ▶ DXの取組と、感染症との複合災害対策については特集ページを作成

発災時を想定した4つのシナリオ

- ① 区部・多摩地域における地震
- ② 島しょ地域における地震
- ③ 島しょ地域における火山噴火
- ④ 都内各地における風水害

各シナリオの中で、
発災時に懸念される事態
(リスク)を明確化

行うべき取組

各リスクに対して、あらかじめ行うべき「自助・共助」と「公助」の具体的取組や工程を掲載

